



福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺宇通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：大野順道 ■幹事：金子親房
- 会報委員長：丹治洋子 ■副委員長：佐藤朋也
- 委員： 戸清和 菅野良二 吉田仁一 渡辺勇

第41回例会

平成 26 年 5 月 14 日 (水) サンパレス福島

■会員/74名 ■出席/46名 ■出席率/62.16% ■メイクアップ/28名 ■修正/74名 ■修正率/100.00%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 戦略計画委員会・クラブ奉仕委員会 合同セミナー報告
- 4 新会員スピーチ
- 5 ゲストスピーチ
- 6 閉会点鐘

会員の広場

5/16 テレビ

4月20日～22日までの京都研修では、寺詣りの折、何人かのメンバーが御朱印帳をもって各寺をまわりました。今「御朱印女子」ということばがあるくらい静かな流行をしているようです。1人1人特徴のある御朱印を頂き、ほっとした気分になり、さらに功德も頂けるとのことでした。私もたくさん功德を頂きました。

今日の一面記事

5/14 時事通信

日本人初の国際宇宙ステーション(ISS)船長を務め約半年間の長期滞在から帰還した若田光一さん(50)が14日午後、中央アジア・カザフスタン北部に到着した。若田さんの健康状態は良好で、半年ぶりの地球の重力にもすぐに慣れて歩けるなど元気な様子。宇宙機構を通じ「ただいま、帰ってきました。長い間無機質なISSにいたので、カザフスタンの草原のそよ風に迎えられた感じがします。やっぱり、地球はいいです」とコメントを出した。

◆会長あいさつ◆

大野 順道 会長



皆さん、こんにちは。本年度、ゲストスピーカーとして地区委員会の方々からお話を伺って参りました。残念ながら、こちらの都合で

お願い出来なかった方もおられますが、多くの方々からお話を伺う事ができました。そして本日は、今年度地区委員会の方の最後として大橋廣治パストガバナーにスピーチをお願いすることができました。大橋廣治パストガバナーは御存じのように、3年前、東日本大震災があった時の第2530地区ガバナーです。当時、全国はもとより、世界各国より暖かいご支援が数多くありました。第2530地区のロータリアン自身が被災している中で、どのように全国世界各地からのご支援に応えるかは、ガバナー始め地区役員の方々には大変なご苦労があったと拝察いたします。また、当クラブにおきましても、特に御苦労のあった黒羽

好夫第40代会長始め、高橋和之パスト会長、紺野仁昭パスト会長は、それぞれに御尽力されました。その御蔭さまの一つに、東京麹町ロータリークラブと姉妹クラブになれましたことや、多くのロータリアンと知り合うことができ親睦活動がなされました。敬意と感謝を申し上げます。大橋廣治パストガバナーは、本年度RI第2530地区研修委員会委員長としてご指導頂いておりますが、昨年は新潟第7分区のIMの基調講演の講師や大阪の第2640地区 地区大会のRI会長代理をなされています。また、本年9月6日には、第2650地区(滋賀、福井、京都、奈良、96クラブ、総会員4,523名)のIMの講師として招かれています。ちなみにその時のガバナーは北河原公敬 奈良東大寺管長猊下です。また先日お邪魔した京都洛中ロータリークラブもこの地区のクラブです。本日は、ロータリアンとして多くの御経験があり、多くのロータリー活動をなされています大橋パストガバナーのお話を拝聴できます事に感謝を申しあげまして御挨拶と致します。

◆戦略計画委員会・クラブ奉仕委員会 合同セミナー報告◆

高橋 勇雄 会長エレクト



南クラブからは、大橋地区委員長、野地県北第一分区ガバナー補佐、高橋勇雄の3名出席しました。

ワークショップのテーマは

- ① こうしたら例会が楽しくなった
- ② こうしたら女性会員や若い会員がふえた、
- ③ 会員の維持増強を図るには、

主催者である大橋地区委員長の挨拶で、この日の趣旨・目的は、会員増強であること。

会員の維持・増強は絶対的条件です。現在当クラブでは68クラブ中4番目に位置する大所帯のクラブです。現状に甘えることなく、環境の変化にも対応できるクラブでありたい、健全な社会であってのロータリーを肝に銘じ、報告と致します。

◆新会員スピーチ◆

三瓶 弘樹 会員



皆さんこんにちは。3月26日に入会させて頂きました、株式会社トーカンオリエンスの三瓶弘樹です。大学を卒業後、株式会社トーカンオリエンスに入社致しまして、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災後福島に戻り、現在は天神町にあります東北支社に勤務をしております。今後共ご指導を賜り精進していきたいと考えておりますので、何卒宜しくお願い致します。

◆ゲストスピーチ◆

大橋 廣治 地区研修委員会委員長



大野年度の例会も残り僅かとなりました。

本年度、大野会長は天職でありますお釈迦様の教えを説かれ、また、ご自身の宗派であります臨済宗の開祖である栄西禅師のお話をされ、素晴らしい年度を締め括ろうとされています。

本来、今日は富岡RCの名嘉幸照会員の福島第一原発についてのスピーチをお願いしてありましたが、どうしても都合がつかないとのことですので、

私が代わってスピーチさせていただきます。

彼は沖縄に生まれました、その後アメリカに渡りましてゼネラルエレクトロニクスのエンジニアになられ、東電福島第一原発に最初の立ち上げから入ったのであります。その中でスピニアウトしまして、自分で東電の協力会社を興されまして久留米原発に取り組んで参ったのであります。例の3.11でもって自宅を老後を楽しそうに過ごそうと思っていたが、自宅が全部流され、今会社はいわき市に移された状況であります。彼のことを拝見しますと、沖縄で戦争を体験されて、又3.11でもって原発を体験したという何か感じるものがありまして、ぜひ彼にスピーチをお願いしたいというお話をしたのですが、名嘉幸照会員には次年度IMでの講演をぜひお願いしたいものであります。

それでは、昨年RI会長代理として参りました2640地区大会のお話をさせていただきます。当クラブから戸清和・富田健三郎両会員にご同行頂きました第1日目基調講演を日本を代表するロータリアンであります南園先生がされ、私がRI会長代理としてお話をさせて頂き、その夜は大変すばらしい晩餐会が開催され参加させて頂きました。

翌日、本会議では近隣の首長を迎えているにも拘らず、ガードマンを配置してロータリアンの入場を阻止している有様でした。私も正面から入れず通用口の荷物搬入用エレベーターから会場に入ったのであります。

参加者はおおよそ300人くらいであったと思われます。以前からこの地区ではガバナー選出の方法を巡っていざこざが絶えなかったようであり、警察沙汰にもなっているようであります。

我々ロータリアンはポールハリスの「寛容の精神」、コリンズの「超私の奉仕」、シェルドンの「もっとも奉仕するもの、もっとも報われる」、ハーバードリーダーの四つのテストを学んでおります。

そのような中であのような状況になるとは信じられません。第2530地区の福島南RCはこれを反面教師として今後さらなる発展を期待したいものであります。

ロータリーとは出会いと感動と言われております。やっぱり人間一番大事なのは出会いです。いかにいい人と出会えたか、いかにロータリーでいい出会いに巡り合ったかに尽きるんだらうと感じた次第であります。

ご静聴有難うございました。

一編集後記一

最後の当番となりました。しっかり読んで頂いてありがとうございました。

渡辺

